**第１号議案**

**平 成 ２４ 年 度 事 業 報 告**

平成24年6月14日（木）東京都中央区・八重洲富士屋ホテルにおける第9回定時社員総会で決定された平成24年度事業計画に基づき実施した事業について下記のとおり報告いたします。

**平成24年度基本方針と活動**

1. **RMK認定工場への新基準導入。**
   * ＲＭＫ認定制度に基づく新基準で施設衛生検査を実施
   * 平成24年度は勉強会、検証検査で支援を実施
   * 新基準アレルゲン管理、フードディフェンス等の検討実施
2. **RMKマーク付冷凍めんの認知向上と価値訴求。**
   * 情報発信源はホームページを中心
   * キ―イベントを「冷凍めんの日」と「年明けうどん」にて実施
   * 業務用の施策、首都圏以外の施策を充実

**Ⅰ．組織の概況について**

1. **会　員　数**

　本年は計132事業所(Ａ会員1社減、Ｂ会員3社減の総数で4社減)となった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（平成２５年３月３１日現在）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **区分** | | **23年度末** | **24年度末** | **増減** |
| 一般  会員 | Ａ　会員 | 21 | 20 | -1 |
| Ａ’会員 | 11 | 11 | 0 |
| Ｂ　会員 | 19 | 16 | -3 |
| Ｃ　会員 | 57 | 57 | 0 |
| 特別会員 | | 3 | 3 | 0 |
| 準会員 | | 25 | 25 | 0 |
| **計** | | **136** | **132** | **-4** |

　　　　（注）　　　　【一般会員】

Ａ　会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員並びに組合員

Ａ’会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員

Ｂ　会員：冷凍めんの製造販売を行う全麺連傘下会員並びに組合員

　　　　　　　　　　　　　　　Ｃ　会員：その他、冷凍めんの製造販売を行う企業

　　　　　　　　　　　　【特別会員】　理事会において定める企業

　　　　　　　　　　　　【準会員】 冷凍めんに関する機器資材企業

**２、役　員　数**  
　　　理　事　１４名（会長１名、副会長５名、専務理事１名、理事７名）  
　　　監　事　　２名

1. **役　員　名**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（所属会社の役職名は平成２５年２月２８日現在）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役員名 | 氏名 | 所属 |
| 会長 |  | シマダヤ株式会社　代表取締役社長 |
| 副会長・会長代行 |  | テーブルマーク株式会社　取締役会長 |
| 副会長 |  | 全国製麺協同組合連合会　会長 |
| 同 |  | 株式会社キンレイ　食品事業カンパニーＣＥＯ |
| 同 |  | 日清製粉株式会社　常務取締役 |
| 同 |  | 日本製粉株式会社　取締役常務執行役員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 製粉カンパニーバイスプレジデント製粉営業部長 |
| 専務理事 |  | シマダヤ株式会社　人事・総務部所属 |
| 会計担当理事 |  | 東洋水産株式会社　常務取締役 |
| 同 |  | フレッシュ・フード・サービス株式会社　代表取締役社長 |
| 理事 |  | 日清食品冷凍株式会社　代表取締役社長 |
| 同 |  | 西山製麺株式会社　代表取締役社長 |
| 同 |  | マ・マーマカロニ株式会社　代表取締役社長 |
| 理事・相談役 |  | オリエンタル酵母工業株式会社　特別顧問 |
| 理事・相談役 |  | 株式会社安田製麺所　取締役会長 |
| 監事 |  | 日本リッチ株式会社　代表取締役社長 |
| 同 |  | 伊左治税理士事務所　所長 |

**Ⅱ．主な会議、委員会等の開催と審議事項**

**１、社員総会**

第９回定時社員総会　平成２４年６月１４日（木）　於：八重洲富士屋ホテル

　　　第１号議案から第５号議案承認可決。

（１）第１号議案　平成２３年度事業報告承認の件

（２）第２号議案　平成２３年度決算報告承認の件

（３）第３号議案　平成２４年度事業計画決定の件

（４）第４号議案　平成２４年度収支予算決定の件

（５）第５号議案　役員改選の件

**２、理事会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **実施年日** | **内容** | **場所** |
| 第1回 | H24.5.23 | 1. 第9回定時社員総会議案の承認 | 全麺連会館 |
| 1. 任期満了に伴う理事及び監査改選案の承認 |
| 1. 市場規模の公表内容承認 |
| 1. その他 |
| 第2回 | 6.14 | 平成24年度新役員の役職について | 八重洲富士屋ホテル |
| 第3回 | 9.25 | 1. 冷凍めんの品質保証体制に関する指針改善の承認 | 全麺連会館 |
| 1. 30周年記念の施策大枠の承認 |
| 1. 定款と協会運営ルールの見直し大枠の承認 |
| 1. 市冷協（首都圏市販冷食連絡協議会）への入会承認 |
| 1. 平成24年度施策の進捗報告（技術・情報委員会） |
| 第4回 | H25.1.24 | ①　定款一部変更案：法人法への対応の決議 | 全麺連会館 |
| ②　30周年ＤＶＤ構成の骨子及び出演者案の決議 |
| ③　30周年表彰案の決議 |
| 第5回 | 3.13 | 1. 平成25年度施策案：技術・情報委員会 | 全麺連会館 |
| 1. 平成25年度施策の予算案 |
| 1. 新規会員（Ａ会員）の入会承認 |
| 1. 30周年表彰の件 |
| 1. その他報告事項 |

1. **会計監査会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **実施年日** | **内容** | **場所** |
| H24.5.23 | 平成23年度事業報告、財産目録、貸借対照表および損益計算の監査 | 全麺連  会館 |

1. **技術委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内容** | **場所** |
| 第1回 | H24.4.11 | ①平成24年度RMK認定工場検査：監査通知への不適合の内容  盛り込み | 全麺連　　会館 |
| ②基準の改善の件 |
| ③勉強会の開催及び内容の件 |
| ④セミナーの講演、講師の件 |
| ⑤海外研修の件 |
| 第2回 | 7.18 | ①平成24年度RMK認定工場検査進捗報告 | 全麺連　会館 |
| ②基準の改善内容の確認 |
| ③勉強会9/19（水）内容の件(神戸会場) |
| ④海外研修スケジュールの件 |
| ⑤セミナーの講演の件（品川会場） |
| 第3回 | 10.19 | ◎平成24年度の施策の進捗について | 全麺連　会館 |
| ①ＲＭＫ認定工場工場施設衛生検査進捗 |
| ②海外研修(台湾)の決定と内容、申し込み状況について |
| ③情報委員会施策の進捗と30周年に向けてのH25施策について |
| 第4回 | 12.5 | ◎技術委員会事務局会と監査員（ULASGJ）の平成24年度監査  報告会 | 全麺連　会館 |
| ①各工場の監査報告 |
| ②各工場の状況の討議 |
| ③平成25年度の工場検査の方向性を意見交換 |
| ④30周年優秀工場選定検討 |
| 第5回 | H25.2.7 | ◎平成25年度の活動方針と具体的な施策検討 | 全麺連　会館 |
| ①平成25年度RMK施設衛生工場監査検討 |
| ②定期製品検査と工場への衛生指導（検証検査支援）の検討 |
| ③勉強会の年3回開催と検証検査の支援策としての考え方検討 |
| ④セミナー・海外研修の検討 |

**５、情報委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内容** | **場所** |
| 第1回 | H24.4.18 | ◎平成24年度活動方針と施策について | 全麺連会館 |
| ①基本的な活動方針と施策の検討 |
| ②冷凍めんの日イベント検討 |
| ③年明けうどんの広報を検討 |
| ④ホームページの改善 |
| ・システム及び内容の検討 |
| ・会員への支援と内容の告知・発信の検討 |
| ⑤レシピ開発について |
| ・業務用レシピ等の開発と業界紙発表の件 |
| ・季節レシピへの改善開発の検討 |
| ⑥市場規模調査2012年発表数値の共有 |
| 第2回 | 7.24 | ◎平成24年度施策の進捗確認 | 全麺連会館 |
| ①ホームページのシステム改善 |
| ②レシピ開発と業界紙への発表会の報告 |
| ③プレゼント企画進捗報告 |
| ④冷凍めんの日(10/10)イベントの検討 |
| ⑤チーズフェスタ参加の検討 |
| ⑥30周年記念事業について(開催日時、内容、イベント、予算) |
| 第3回 | 11.28 | ①平成24年度活動報告と今年度の振り返りと意見交換 | 全麺連会館 |
| ②30周年記念事業について |
| ・ＤＶＤ制作進捗及びプレゼント企画等の検討 |
| ③技術委員会の活動報告 |
| ④その他 |
| 第4回 | H25.2.14 | ◎平成25年度施策検討 | 全麺連会館 |
| ①平成25年度活動方針 |
| ②冷凍めんの日(10/10)イベント再検討 |
| ③レシピ開発再検討 |
| ④ホームページ改善 |
| ⑤年明けうどん広告、チーズフェスタ参画の可否検討 |
| ⑥30周年記念事業について |
| ・ＤＶＤ制作進捗及びプレゼント企画等の検討 |

**.**　**Ⅲ．RMKマーク認定制度に基づく活動および支援活動について**

**１、認定工場施設衛生検査実施**

（１）工場検査の実施

①平成24年度は、平成21年度改定した新基準での工場検査を実施。

不適合となった工場はなかった。

②ランクアップが期待される工場、問題を抱える工場等16工場については昨年度同様、2回の工場検査を実施、多くの工場がレベルアップできた。問題を抱える2工場も年度末までには、進捗確認できた。

　　 （２）製品一斉検査事業について

　　　　　　　 ①製品検査は、夏場と春先の2回実施した。

　　　　　　　 ・一般生菌数、大腸菌群、Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌

　　　　　　　　：食味、形態、重量

　 ②平成24年（7～8月）の検査結果

・53企業、129検体

・前年夏場の検査に比べ300/ｇ以下が44％と2％、999/ｇ以下でも70％と5％減少、大腸菌群の陽性率も31検体と16検体増加し、衛生状態はよくなかった。節電等でのラインごとの稼働時間アップの影響が出たのではないかと考えられる。

　　　　　　　 ・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・その他項目は問題なかった。

　　　　　　　 ③平成25年（2～3月）の検査結果

　　　　　　　 ・53企業、137検体

　　　　　　　 ・前年の冬場（2～3月）の検査結果と比較し、300/ｇ以下が72％と2％

　　　　　　　　 増加、999/ｇ以下は87％で2％減少とほぼ同レベル。

　　　　　　　 ・大腸菌群の陽性率11検体で前年より3検体増加。

　　　　　　　 ・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

　　　　　　　 ・内容量について過少が1検体、やや過重が4検体あった。

　　　　　　　 ・その他項目は問題なかった。

　　（３）冷凍めん工場の品質保証体制に関する指針の付属書の内容を見直し改定、Ｒ

ＭＫ認定工場へ配布。平成25年度工場施設衛生検査より使用する。

**２、品質保証の為の工場実務者向け勉強会（第2回～第4回）**

昨年度より開始した工場実務者向け勉強会を３回実施。(第１回勉強会H24.1.26)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **講演内容** | **開催場所** | **参加者／募集定員** |
| **講師** |
| 第2回 | H24.4.26 | 1. 食品の安全・安心の構築の土台‐食品衛生７Ｓ　　　　  『整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・躾・清潔』 | 東京八重洲  カンファレンスセンター | 82名／50名 |
| 株式会社角野品質管理研究所 代表取締役  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　角野 久史　氏 |
| 2.麺類製品への微生物汚染とその対応 |
| アース環境サービス株式会社　開発技術部  課長代理　理学博士　寺岡 雄志　氏 |
| 3.　麺製造におけるアレルゲンの管理について |
| 一般社団法人　日本冷凍めん協会　専務理事  　那須 保信 |
| 第3回 | 9.19 | 1. 冷凍・冷蔵の基礎 | 神戸国際会館 | 70名／50名 |
| 東京海洋大学　食品生産科学科　農学博士  鈴木 徹 教授 |
| 2．製麺技術の基礎　ミキシング～ゆで |
| 日清製粉株式会社　研究開発本部  商品開発センター　小麦粉チーム  　チームリーダー　長井 孝雄 氏 |
| 3.「冷凍めん工場の品質保証体制に関する指針」の  改善点説明 |
| 株式会社UL ASG Japan　開発部　専任部長  中村 博史 氏 |
| 第4回 | H25.1.23 | 1. 冷凍・冷蔵の基礎 | 東京八重洲  カンファレンスセンター | 84名／50名 |
| 東京海洋大学　食品生産科学科　農学博士  鈴木 徹 教授 |
| 2．製麺技術の基礎　ミキシング～ゆで |
| 日清製粉株式会社　研究開発本部  　商品開発センター小麦粉チーム  チームリーダー長井 孝雄 氏 |
| 3. 「冷凍めん工場の品質保証体制に関する指針」の改善点説明 |
| 株式会社UL ASG Japan　開発部　専任部長  中村 博史 氏 |

1. **セミナー**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **講演内容** | **開催場所** | **参加人数** |
| **講師** |
| H24.11.6 | 1.一流選手から学ぶ目標達成へのプロセス | 品川プリンスホテル | 109名 |
| 元サッカー日本代表監督　国士舘大学客員教授  山本昌邦 氏 |
| 2. 緊迫する国際情勢、日本経済はどうなる？ |
| 獨協大学教授・経済アナリスト　森永卓郎 氏 |

1. **海外研修**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **行き先** | **内容** | **参加人数** |
| H25.2.18～22 | **台湾（台北、桃園、高雄）** | 台湾における冷凍食品類の生産から物流について今後の冷凍麺の可能性を知ることが出来、視察先各社、また、参加者の懇親を深め、多くの知見を得た。 | 23名 |
| 亜東関係協会、 |
| 南橋グループ  （冷凍めん、冷凍パン生地、油脂工場） |
| 永昇冷凍食品工業（冷凍枝豆工場） |
| 全日物流冷凍倉庫  （台湾大手物流会社冷凍倉庫） |
| その他、カルフール等大手スーパー、地元スーパー、コンビニエンス等を視察 |

**Ⅳ．RMKマーク付き冷凍めんの認知向上と価値訴求及び協会の取り組み強化**

**１、ホームページ（ＨＰ）の改善**

　　　＊一般サイトと会員サイトの管理及び利用度を上げる為、システム変更を実施

　　　　①会員サイトの各種情報についてダウンロード出来るようになり、会員のアクセスが増加した。

　　　　②会員への情報発信は増加した。

　　　　③一方、一般サイトのアクセス数は減少した。

**２、イベント**

（１）「冷凍めんの日」イベント　・・・地方でのイベント実施

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **内容** | **成果** | **開催場所** |
| H24.10.6 | ポスター掲載、チラシ、冊子配布、メディアへの発信等を実施  銀シャリを起用してのトークショーを開催、冷凍めんのおいしさアピール。 | 実施日1日間。 冷凍麺のおいしさ、冷凍めん協会、ＲＭＫマークの認知度を上げることが出来た（１メニュー1632食を提供）。 | サンシャイン　ワーフ神戸 |

（２）チーズフェスタ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **内容** | **成果** | **開催場所** |
| H24.11.11 | チーズとラーメンのこだわり  メニューと栄養バランスについての講演。冷凍麺の5つのおいしさの講演を実施。 | チーズ普及協議会とのコラボ事業。  メディア露出度の高いイベントで冷凍麺の良さをアピール。当協会ＨＰへのアクセス増加を図れた。 | ベルサーユ  原宿 |

**３、レシピ開発（管理栄養士とのタイアップ開発）**

　　　①業務用のレシピを多く開発、レシピ欄のバランスを図り、写真含め質の良い

画像にし、ＨＰ会員サイトよりダウンロード出来るようにした。

　　　②トップページへ載せるお薦めレシピについて、季節感を出すリニューアルを実施し、写真等の画質も上げ、トップページの変更も4シーズンから6シーズンへ増やした。

　　　③年明けうどんレシピ開発、赤の具材の表作成、ＨＰ会員サイトに掲載、ダウンロード出来るようにした。

**４、年明けうどんの広告掲載**

　　　①朝日、毎日新聞全国紙にカラー広告を年末12/26以降12/31の間に掲載。

　　　 ＊朝日新聞12/27掲載。

　　　 ＊毎日新聞12/26掲載、一部12/31掲載。

　　　②産経新聞の中日本版に白黒１ページ広告を12/30掲載。

　　　③掲載情報については会員に発信。

**５、設立30周年の計画立案**

　　　　①30周年記念してのＤＶＤの製作を決定し、協会創生期に活躍された方々からの聞き取り調査を開始。

　　　　②記念式典を総会当日開催することを決定、感謝状申請（農林水産省）や優秀

工場表彰の検討に入った。

**Ⅴ．市場規模および平成24年生産食数の公式発表について**

　　　平成22年度まで行ってきた、前年度数値にＲＭＫマーク申告数の進捗率を使用しての推定方式から、平成23年度より調査方式に切り替え、協会会員、一部協会外企業にも協力頂き、平成22年、23年、平成24年の暦年の生産食数を基に公式発表した。

　　　平成24年度は前年協力いただけなかった企業様14社のうち6社様にご協力頂き、さらに精度の高い数値になった。

　　　なお、本資料は農林水産省をはじめ報道関係の一般紙新聞社、食品産業界の新聞および雑誌に配布した。

**１、市場規模（日本冷凍めん協会調査）及びＲＭＫ申告数**

　　　（１）生産食数（暦年）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 業務用（万食） | 市販用（万食） | 合計（万食） | 前年比（％） |
| 2010年 | 88,666 | 51,787 | 140,453 |  |
| 2011年 | 95,491 | 56,222 | 151,714 | 108 |
| 2012年 | 95,064 | 83,499 | 178,563 | 118 |

　　　（２）ＲＭＫ申告数（暦年）（会員以外へは非公開）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 業務用（万食） | 市販用（万食） | 合計（万食） | 前年比（％） |
| 2009年 | 48,724 | 35,299 | 84,023 |  |
| 2010年 | 54,771 | 46,934 | 101,705 | 121 |
| 2011年 | 59,325 | 49,892 | 109,217 | 107 |
| 2012年 | 66,079 | 48,421 | 114,500 | 105 |







　　　平成２５年５月２２日

|  |
| --- |
| 一般社団法人　日本冷凍めん協会 |
| 代表理事　　　木　下　紀　夫 |
| 副会長　　　　山　田　良　一 |
| 副会長　　　　前　場　敏　男 |
| 副会長　　　　花　房　宏　昌 |
| 副会長　　　　染　澤　三　雄 |
| 専務理事　　　那　須　保　信 |
| 理　事　　　　田　中　康　裕 |
| 理　事　　　　近　藤　英　次 |
| 理　事　　　　西　山　隆　司 |
| 理　事 友　政　克　己 |
| 理　事　　　　祢　宜　　博 |
| 理事・相談役　新　倉　英　隆 |
| 理事・相談役　安　田　征　伍 |
| 監事　　　　 宮　田 一　正 |
| 監事　　　　 伊左治　重 之 |

監　査　意　見　書

　　平成２５年５月２２日会長から提出された平成２４年度事業報告書、財産目録、

貸借対照表、正味財産増減計算書の各項目について監査を実施したところ、

その内容は適正、適法なものと認めます。

平成２５年５月２２日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人日本冷凍めん協会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　監　事　　　宮田　一正

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　監　事　　　伊左治　重之

**第３号議案**

**平 成 ２５年 度 事 業 計 画**

昨年度における我が国経済は、欧州債務危機問題等を背景とする円高や株式市場の低迷により、厳しい状況で推移しましたが、昨年末の新政権による経済政策への期待感から、円高の修正や株価の回復が急速に進みました。日銀が2%の物価目標の達成に向け、大規模な「量的・質的金融緩和」を決める等まさに金融政策の歴史的な転換期に、当協会は設立30周年を迎えることとなります。

今年度の食品業界を取り巻く環境におきましては、原材料・資材やエネルギーコストの高騰、更には来年の消費税増税への対応と大変重要な課題を抱える一方、生活者の経済性志向の高まりや、業態・業種を超えた競争激化により、更なる低価格化が進行し、厳しい経営環境が続くと予測されます。

2012年度の冷凍めんの市場規模は、当協会調べによりますと、市販・業務用を合わせ約178,000万食(前年比118％)となっており、設立以来30年間伸び続けております。

冷凍めん市場が持続的成長を継続できているのは、創設期に携わった方たちのご努力もさることながら、お客様の食に対する安全・安心への要求に対応し、且つ冷凍めんの普及に軸足を置いた活動を会員の皆様とともに行ってきた成果であります。

30周年という節目を迎える今年度の事業計画は、創設期より継続している冷凍めんの「おいしさ」「安全・安心」「利便性」の本質的価値を訴求する取り組みを継続し、更には30周年を記念した各種キャンペーンを実施し、冷凍めんの普及活動に注力して参ります。

　引き続き会員各社様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

**Ⅰ．平成25年度基本方針**

**１．30周年を迎え、気持ち新たに改善新基準を持ってＲＭＫ認定工場の施設衛生検査を実施、更に麺業界の安全安心を推進する。**

* + ＲＭＫ認定制度に基づく新基準で施設衛生検査を実施
  + 支援活動としての勉強会3回、セミナー、海外研修を充実させる。
  + 会員支援の冷凍めんＱ＆Ａを作成する、と共に支援内容の検討を進める。

**２．日本冷凍めん協会設立３０周年を迎えるあたり、初心に返り、ＲＭＫマーク付冷凍めんの認知向上と価値訴求を図る。**

* + 30周年記念施策に焦点を絞り実施する。(除くＨＰ通常施策)
  + プローモーションの実施に当たっては、「業務用と市販用」等のバランスを考慮し冷凍めんの基本価値「おいしさ」「安全・安心」「利便性」を訴求する。
  + 業務用の施策と首都圏以外の施策を充実させ、偏りをなくす。
  + 年度後半において、数年間の施策の総括を行い次年度以降の施策に反映する。

**Ⅱ．平成25年度の基本方針に基づく具体的な施策**

**１、RMKマーク認定制度に基づく活動および支援活動**

　　（１）ＲＭＫ認定工場の施設衛生検査

・平成24年度技術委員会で付属書を改訂した「冷凍めん工場の品質保証体制に関

する指針」に基づく基準で工場検査を実施する。２回目の工場検査で不適合の

結果の場合はＲＭＫの認定取り消しとする。

　　（２）製品一斉検査及びその他衛生管理に関する検査。

・夏季、冬季の2回、ＲＭＫ認定の為、製品の衛生度等の確認検査を実施する。

　　（３）品質保証の為の工場実務者向け勉強会を博多、東京、神戸と年３回実施

・**第5回博多（4/26）、第6回東京（9月予定）、第７回神戸（1月予定）**

　　（４）会員企業向け第3回セミナー

　　　・平成25年11月28日（木）／品川プリンスホテル

　　　・講師　黒川伊保子氏、三橋貴明氏を予定

（５）第3回海外研修

　・食品業界にふさわしい内容を用意、多くの会員にご参加頂ける内容とする。

**２、RMKマーク付き冷凍めんの認知向上と価値訴求及び協会の取り組み広報**

　　（１）30周年を振り返るＤＶＤ作成

　　　・協会創設期に参画された方々の思いを伝え、今後の業界の更なる発展への糧となるようなＤＶＤとする。

　　（２）イベントの開催

　　　・お料理ブロガーの集まるサイトを使って、冷凍めんの種類、利便性、おいしさを生活者にアピールするイベントを実施。

　　　・イベントに続き、レシピコンテストを実施、レシピ開発及び30周年記念プレゼント企画で、ＲＭＫマーク付き冷凍めんの認知向上、価値訴求を行う。

　　（３）管理栄養士利用サイトを活用しての業務用冷凍めんの普及を図る。

　　　・冷凍めんに関する検定サイトを作り、検定を受けてもらい、冷凍めんの知識を得てもらうと共に、30周年記念Ｒ・Ｍ・Ｋプレゼントの当たる企画を行い、ＲＭＫマーク付き冷凍めんの安全性をアピール、且つ協会ＨＰへのアクセス増加を図る。

（４）冷凍めんの解凍ＤＶＤを制作する。

　　　・様々な解凍方法の紹介と利便性を訴求する。

　　　・動画レシピとしてのメニュー開発を兼ねる。

　　（５）市場規模調査を実施する。

　　　・前年度開始した調査会社を起用しての生産食数調査を継続実施する。

　　　・協力企業を増やし、より信頼性の高い数値としていく。

(６)30周年プレゼント企画

　　　第1弾：夏休み親子冷凍めん工場見学、日帰りバスツアー

　　　・主婦及び将来のお客様に冷凍めんを身近に感じて頂く企画。

　　　・20組40名様ご招待

　　　・協力：テーブルマーク㈱魚沼水の郷工場

　　　第２弾：10/10冷凍めんの日を締切とした北海道ラーメンの旅

　　　・冷凍めんを含むラーメン工場見学とラーメン教室一泊２日

　　　・10組20名様ご招待

　　　・協力：西山製麺㈱

　　　第３弾：業務用冷凍めん取り扱い業者向け広告企画

　　　・業界紙10社への冷凍めん協会30周年の感謝広告と10/10冷凍麺の日コラボ広告企画（予定）

　　（７）協会ホームページの改善

　　　・協会員への情報発信の充実を図る。

　　　・一般サイトを見やすく改善し、アクセス数の増加を図る。



広報活動費支出予算明細

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 内容 | 予算（単位：円） | 備考 |
| 1 | 30周年ＤＶＤ作成 | 創設期から参画された方々の熱き思いを伝える | 2,000,000 | ・３０周年準備金より200万円 |
| 2 | お料理ブロガー使ってのイベント、レシピコンテスト | お料理を良くされる方たちへの冷凍麺の価値訴求 | 4,500,000 | ・イベント、レシピコンテスト、発表会、プレゼント企画と4月～11月にかけ実施 |
| 3 | 管理栄養士利用サイトでの冷凍めん検定・ＲＭＫプレゼント企画 | 冷凍麺に関する検定サイトを作り、検定を受けてもらい、冷凍麺の知識を得て、プレゼントが当たる。 | 2,900,000 | 業務用ユーザーへのＲＭＫマーク付き冷凍麺の価値訴求 |
| 4 | 冷凍麺の解凍ＤＶＤ制作 | 色々な解凍方法の紹介と動画レシピ制作10品 | 1,600,000 | ・情報発信源として整備を行う。 |
| 5 | 30周年プレゼント企画第1弾：夏休み親子冷凍めん工場見学日帰りバスツアー | Ａ賞；20組40名をテーブルマーク㈱魚沼水の郷工場ご招待とＢ賞：商品券、および朝日子供新聞掲載。 | 2,800,000 | ・冷凍麺をお子様と親御様に身近に感じて頂く企画  ・ＲＭＫマークを使った**クローズドキャンペーン**。 |
| 6 | 30周年プレゼント企画第２弾：10/10冷凍めんの日を締切とした北海道ラーメンの旅 | 冷凍めん含むラーメン工場見学とラーメン教室一泊２日、10組20名様ご招待 | 3,000,000 | ・身近に冷凍めん、ラーメンを感じてもらう。体験ツアー。  ・ＲＭＫを使ったクイズに答えての**オープンキャンペーン** |
| 7 | 30周年プレゼント企画第３弾：業務用冷凍めん取り扱い業者向け広告企画 | 業界紙10社への冷凍めん協会30周年の感謝広告と10/10冷凍麺の日コラボ広告企画（予定） | 2,750,000 | ・一般紙への冷凍めんの日に冷凍めん使用しているお店等の宣伝広告、感謝広告で募集する。 |
|  | ＊5,6,7の30周年プレゼント企画 | ＊総額855万円 |  | 内150万円は30周年準備金から |
| 8 | 協会ホームページの維持管理、と改善 | 基本作業と情報発信等と見やすくする改善 | 4,870,000 | ・維持管理費300万円、改善187万円 |
| 9 | 業界紙への広告掲載等 | 業界紙・関係団体誌への広告等掲載、 | 3,100,000 | ・業界紙１０社及び関係団体誌への広告、暑中・年始挨拶等掲載費 |
| 10 | 全麺連等広報活動・その他 | 全麺連関連の協賛広告、共同企画等 | 1,000,000 | ・全麺通信、全麺大会、その他セミナー、年明けうどんHP管理費等 |
| 11 | 市場規模調査（調査研究費） | 前年より始めた会員企業及び会員外企業 | （950,000） | 調査会社を使っての生産量調査：広報活動費とは別予算 |
|  |  |  |  |  |
|  |  | 合計 | 28,520,000 |  |

**第５号議案**

定款一部改定の件

１、改定の理由

　（１）法人法への定款内容の適応

　（２）協会運営方法との適合性を図る

２、改定の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 現　行　定　款 | 改　定　定　款 |
| 基金の総額）  第４条　当法人の基金の総額は、金３００万円とする。  （公告の方法）  第５条　当法人の公告は、事務所の掲示場に掲示する。  第６条～第16条（条文省略）  （任期）  第17条　理事の任期は、就任後2年内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとし、監事の任期は、就任後4年内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとする。  2～3（条文省略）  第18条～第23条（条文省略） | 基金の募集）  第４条　当法人は、基金を引き受ける者の募集をすることができる。  （公告の方法）  第５条　当法人の公告は、主たる事務所の掲示場に掲示する。  第６条～第16条（現行どおり）  （任期）  第17条　理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。  2～3（現行どおり）  第18条～第23条（現行どおり） |

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  |
| （社員総会の招集）  第24条　社員総会は、代表理事がこれを招集するものとする。  2　社員総会の招集は、理事の過半数で決する。  3　社員総会を招集するには、会日より5日前に各社員に対して、その通知を発することを要する。  第25条（条文省略）  （社員総会の議決権）  第26条　各社員は、各1個の議決権を有する。   |  | | --- | | 第27条～第28条（条文省略） | | （理事会）  第29条　理事会は理事及び監事をもって構  成する。  ２　理事会は代表理事が必要と認めたとき、  あるいは理事の2分の1以上の要請があった  ときに招集する。  （新設）  （新設）  ３　理事会の議決は、理事の過半数が出席し  、その過半数で決する。  ４　理事会の議事については、議事録を作成  し出席理事及び監事が記名押印しなければな  らない。  （新設）  （理事会における議決事項）  第30条　理事会では、次の事項を議決する。   1. 社員総会に提出する議案 2. 社員総会の議決した事項の執行に関   する事項   1. 加入、脱退に関する事項   　　　　　（新設）  　　　　　（新設）  （4）その他、業務の執行に関する事項で、  理事会が必要と認める事項 | | |  | | --- | | （社員総会の招集）  第24条　（現行どおり）  2　社員総会の招集は、理事会の決議で決定する。  3　社員総会を招集するには、会日より１週間前  までに各社員に対して、その通知を発すること  を要する。  第25条（現行どおり）  （社員総会の議決権）  第26条　社員総会を構成する各社員は、各1個  の議決権を有する。 | | 第27条～第28条（現行どおり） | | （理事会）  第29条　当法人には、すべての理事をもって  構成する理事会を設置する。  ２　理事会は、代表理事が招集する。  ３　理事会を招集するには、会日より３日前  までに、各理事及び各監事にその通知を発す  るものとする。  ４　一般社団法人法第91条第2項前段の報告は  、毎事業年度に4ヶ月を超える間隔で２回以上  行わなければならない。  ５　監事は理事会に出席し、必要があると認め  た時は、意見を述べなくてはならない。  ６　理事会の議決は、議決について特別の利害  関係を有する理事以外の理事の過半数が出席し  、その過半数で決する。  ７　理事会の議事については、議事録を作成し  出席理事及び監事が記名押印しなければなら  ない。  ８　第６項の規定にかかわらず、一般社団法人  法第９６条の要件を満たしたときは、理事会の  決議があったものとみなす。  （理事会における議決事項）  第30条　理事会では、次の事項を議決する。   1. 社員総会に提出する議案 2. 社員総会の議決した事項の執行に関する   事項   1. 加入、脱退に関する事項   (4) 毎事業年度における事業計画  (5) 一般社団法人法及び本定款に定める事項  (6) その他、業務の執行に関する事項で、 理事会が必要と認める事項 | |

**第６号議案**

**役員一部改選の件(案)**

**１．改選理由**

　　　　辞職に伴う理事改選

**２．理事候補者名(案)**

（新）理事

　　　　　　　日野　三代春（ひの　みよはる）

　　　　　　　　　　　　　（テーブルマーク株式会社　代表取締役社長）

（新）理事

徳山　均　（とくやま　ひとし）

（株式会社キンレイ　食品事業カンパニーＣＥＯ）

（新）理事

　　　　　　　山田　貴夫（やまだ　たかお）

　　　　　　　　　　　　　（日清製粉株式会社　取締役）

(新)理事

　　　　　　今村　将也（いまむら　まさや）

　　　　　　　　　　　　　　　　（東洋水産株式会社　常務取締役）

理事１4名、監事２名